

- 01 : 認知症及び認知症ケアに関する研修
- 02 : プライバシーの保護の取り組み及び個人情報保護法に関する研修
- 03 : 接遇に関する研修
- 04 : 介護事業所向け 倫理及び法令遵守研修
- 05 : 障がい福祉向け 倫理及び法令遵守研修
- 06 : 事故発生または再発防止に関する研修（1回目）
- 07 : 事故発生または再発防止に関する研修（2回目）
- 08 : 緊急時の対応に関する研修
- 09 : 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修（1回目）
- 10 : 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修（2回目）
- 11 : 身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修（1回目）
- 12 : 身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修（2回目）
- 13 : 非常災害時の対応に関する研修
- 14 : 介護予防及び要介護度進行予防に関する研修
- 15 : 医療に関する教育・研修
- 16 : ターミナルケアに関する研修
- 17 : 精神的ケアに関する研修
- 18 : ハラスメント対策の為の研修
- 19 : 虐待防止に関する研修（1回目）
- 20 : 虐待防止に関する研修（2回目）
- 21 : 入浴介助についての研修
- 22 : 意思決定支援に関する研修

令和8年度

研修動画配信サービス

研修ガイダンス

- 本研修の構成について
- 各研修の詳細
- 研修の進め方

本研修の構成について

本サービスの研修は、単に法定研修を並べたものではありません。
現場で起きやすい課題の流れに沿って構成しています。

1 : 利用者を理解するための研修

認知症ケア・接遇・精神的ケア・ターミナル・意思決定支援など、利用者の行動や思いを理解し、適切な関わり方を学びます。

2 : 支援者の判断を整える研修

倫理・医療・感染症・緊急時対応・入浴介助など、現場で判断を誤らないための考え方を学びます。

3 : 組織として防ぐための研修

事故防止・身体拘束防止・虐待防止・ハラスメント対策など、個人任せにせず、組織として再発を防ぐ仕組みを理解します。

1. 認知症及び認知症ケアに関する研修

パーソンセンタードケア

認知症の方を孤独にさせないために

- ①「仲間」等のふれあいがある環境
- ② 認知症の方の感情につきあうこと

パーソンセンタードケア解説シーン（イメージ）

認知症の方でも参加できる
運動レクリエーション



グーとパーを交互に行う
→パーの時は、手を反対にする。

認知症の方でも参加できる運動レクリエーション

研修内容の要約

認知症の方の行動を「問題」と捉えず、
その背景にある気持ちを理解する視点を学ぶ研修

目次

1. パーソンセンタードケア
2. 認知症の方でも参加できる運動レクリエーション

※運動レクリエーションの講師は、「てつまる」さんが講師を務めています。
「てつまる」こと辻徹郎さんは、柔道整復師の資格を持ち、高齢者向けの体操やレクリエーションをSNSやYouTubeで発信している専門家です。

研修時間

24分51秒

2 . プライバシーの保護の取り組み及び個人情報保護法に関する研修

研修内容の要約



解説シーン（イメージ）

日常業務の中で起きやすい個人情報の取り扱い
リスクに気づき、適切な判断基準を学ぶ研修

目次

1. 個人情報3つの区別
2. 要配慮個人情報
3. 要配慮個人情報の取り扱い
4. 個人情報保護法クイズ

研修時間

22分26秒

3. 接遇に関する研修

研修内容の要約

クイック判断！お直しクイズ！

第1問:排泄介助のトイレ誘導をする場面



トイレ行きますよ！

ほら、立ってズボンおろしてください。

クイック判断お直しクイズシーン（イメージ）

無意識に出てしまう声かけを見直し、
利用者の尊厳を守る関わり方を身につける研修

目次

1. クイック判断お直しクイズ
(不適切な言葉づかいや接遇を正しくなおしましょう)
2. 今、手が離せない時
(どうしても手が離せない時、ご利用者様に何と言いますか?)

研修時間

12分51秒

4. 倫理及び法令遵守研修(介護事業所向け)

倫理①倫理の定義

自分の好き嫌いではない。

輪の中で守るルール

倫理

他者から与えられるもの

・例: 医療現場における「患者の自律性を尊重する」という原則

倫理解説シーン (イメージ)

法令遵守/権利擁護

2. 法令遵守/権利擁護

介護保険法の“芯”

介護保険法の目的

- ◎自立支援→ できることを奪わず、その人らしい生活を守る
- ◎必要なサービスの確保→ 医療・福祉を切れ目なく受けられる仕組み
- ◎社会全体で支える→ 家族任せにしない仕組み

◎自立支援とは、「手を出さないこと」ではなく「奪わないこと」

介護保険法を支える土台

人としての尊厳の尊重 自己決定の尊重

権利擁護

法令遵守講義シーン (イメージ)

研修内容の要約

福祉で働く倫理を振り返り、「本人のため」という支援が、権利制限にならないための考え方を学びます。介護事業所のご従業員様の為の研修です。

目次

1. 倫理 (職業倫理)

2. 法令遵守/権利擁護

(ケア現場の主導権は誰が持つのか!?)

研修時間

9分37秒

5. 倫理及び法令遵守研修(障がい事業所向け)

倫理①倫理の定義

自分の好き嫌いではない。

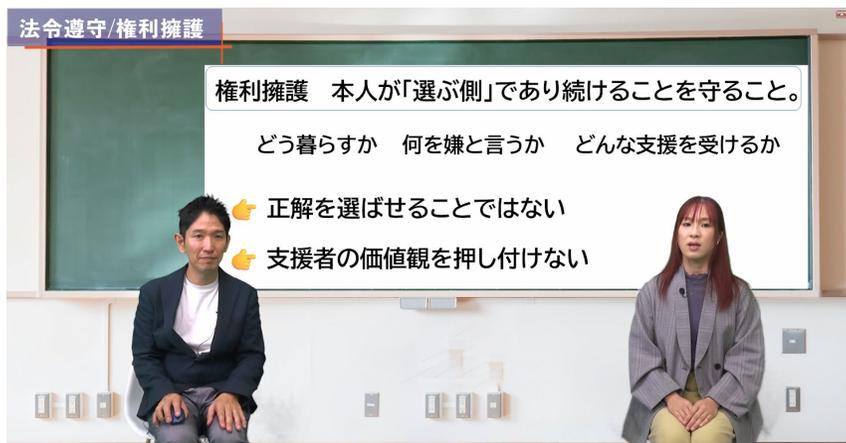
輪の中で守るルール

倫理

他者から与えられるもの

・例: 医療現場における「患者の自律性を尊重する」という原則

倫理解説シーン (イメージ)



法令遵守講義シーン (イメージ)

研修内容の要約

福祉で働く倫理を振り返り、「本人のため」という支援が、権利制限にならないための考え方を学びます。
障がい事業所のご従業員様の為の研修です。

目次

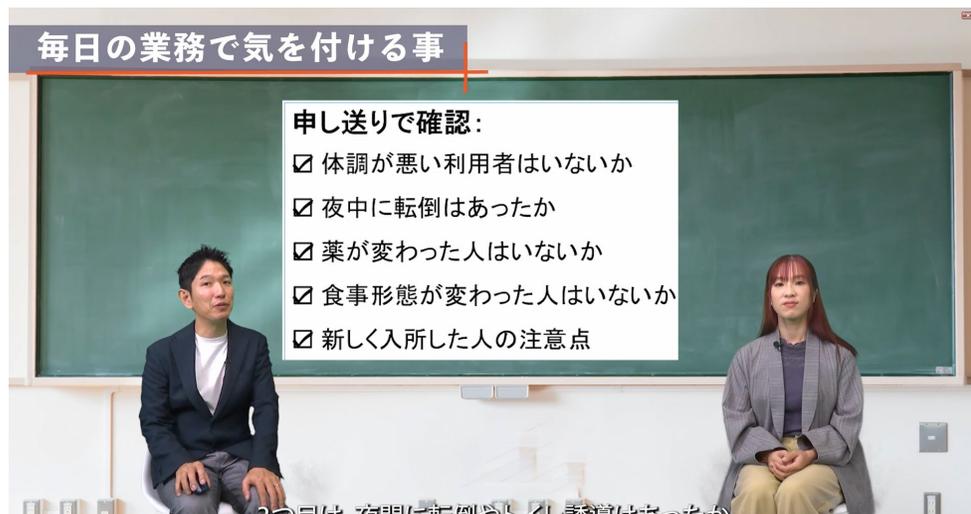
1. 倫理 (職業倫理)
2. 法令遵守/権利擁護
(福祉現場の主導権は誰が持つのか!?)

研修時間

6分50秒

6. 事故発生または再発防止に関する研修（1回目）

研修内容の要約



防げる事故と防げない事故を整理し、 安全をチームで守る考え方を学ぶ研修

目次

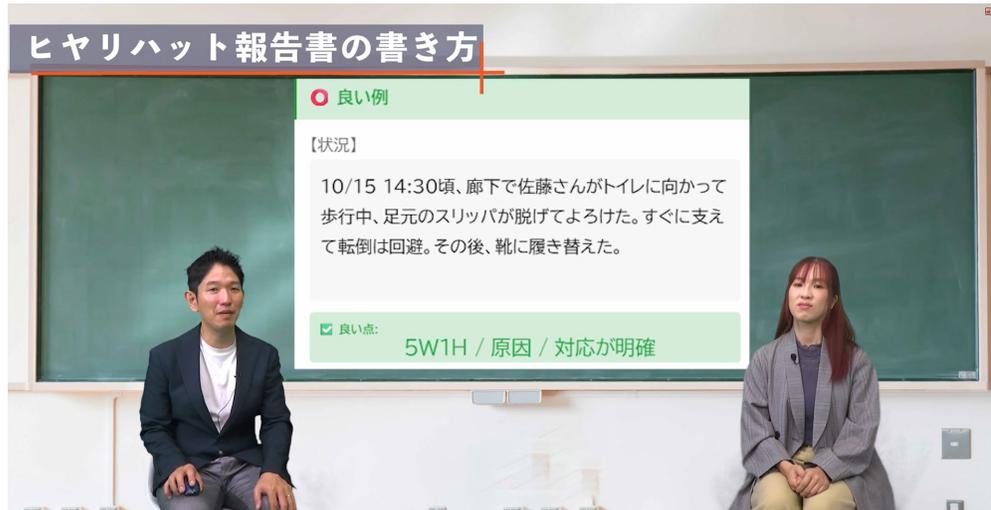
1. 事故の考え方の変化
2. 毎日の業務で気を付ける事
3. 事故が起きたらどうする？
4. よくある事故と予防のコツ
5. まとめ

研修時間

25分20秒

7. 事故発生または再発防止に関する研修（2回目）

研修内容の要約



講義シーン（イメージ）

事故を再発防止につなげるための、 正確な記録と報告の考え方を学ぶ研修

目次

1. 事故を見つけたときのメモの取り方
2. ヒヤリハット報告書の書き方
3. 上司への口頭報告
4. まとめ

研修時間

10分30秒

8. 緊急時の対応に関する研修

研修内容の要約

緊急時に迷わず行動できるよう、命を最優先にした判断の考え方と対応を学ぶ
研修

目次

1. 報告と緊急時の目安
2. 急変時対応（一時救命処置）
3. 個別対応
4. 違法性阻却事由
5. まとめ

※看護師監修

研修時間

18分18秒

報告と緊急時の目安

報告と緊急性の目安

| 項目 | 報告の目安 | 緊急性の目安 |
|-------|-------------------------------|--|
| 体温 | 37度以上 または、平熱より±1.5度 | 平熱より2度以上上昇 悪寒戦慄が激しい 微熱が続く 発熱以外の症状がある。 |
| 血圧 | 最高血圧90mmHg以下 | 変動が激しい 頭痛、嘔吐、意識不明 |
| 脈拍 | 60回分/未満 または、120回/分以上 | 安静時に100回/分以上平常時に50回/以下 激しいリズムの乱れ、胸痛、不快感 |
| 呼吸 | 15回/分以下 または、25回/分以上 | 安静時に30回/分以上、無呼吸が30秒以上 仰臥位で呼吸が苦しい、激しい咳、粘痰 |
| 意識 | 呼びかけに応じない 開眼命令に応じない | |
| 酸素飽和度 | 95%以下※末梢の循環が悪いと測定できない場合があります。 | |

講義シーン（イメージ）

9. 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修（1回目）

1. 感染対策の基礎知識



標準予防策

基本的考え方 すべての人の血液、体液、分泌物、排泄物は
 感染の可能性があるものとして扱う

絶対に守るべき「手袋着用」場面

標準予防策など解説シーン（イメージ）



手洗いやマスクの着脱など
 解説シーン（イメージ）

研修内容の要約

職員が感染経路にならない為の手指衛生、マスクの着脱等の手技と標準予防策を理解する研修

目次

- 1 感染対策の基礎知識
- 2 現場での実践技術
- 3 感染症発生時の対応
- 4 職員の健康管理
5. まとめ

※看護師監修

研修時間

5分53秒

10. 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修（2回目）

研修内容の要約

感染症発生時に広げないための具体的な対応と現場で間違いやすい行動を学ぶ 研修

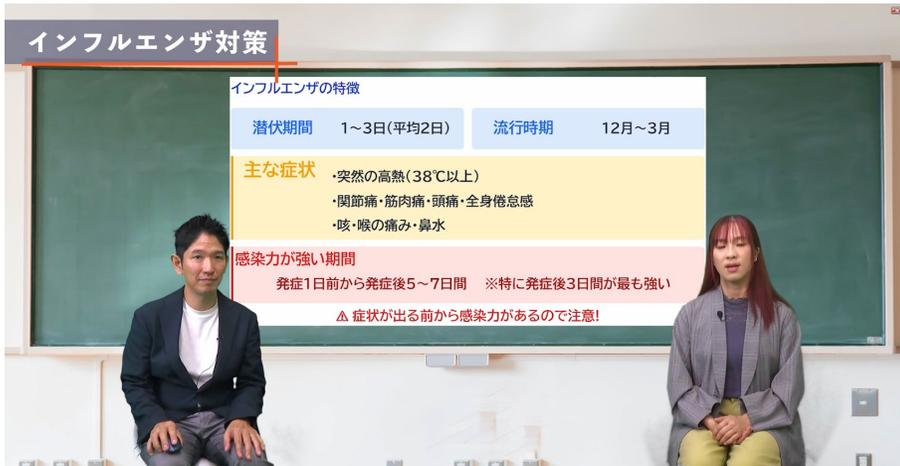
目次

- 1 ノロウイルス対策
- 2 インフルエンザ対策
- 3 嘔吐物処理(実践編)
- 4 まとめ

※看護師監修

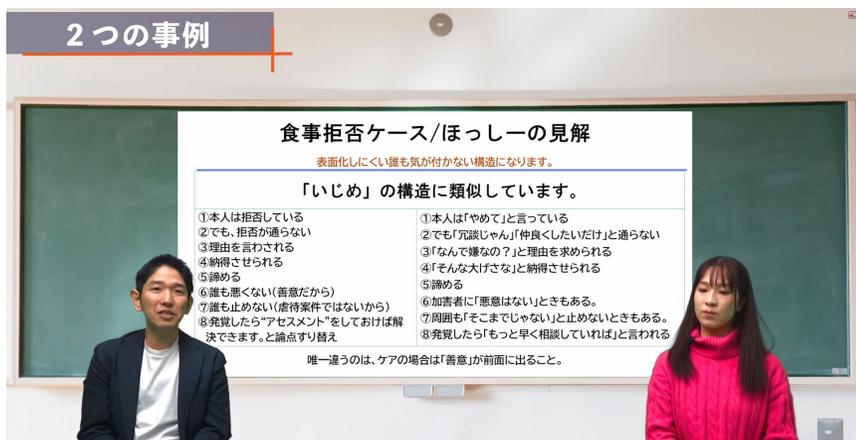
研修時間

14分37秒



講義シーン(イメージ)

1 1. 身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修（1回目）



講義シーン（イメージ）



末安弁護士 講義シーン（イメージ）

研修内容の要約

「危険だから拘束する」にならないための判断の考え方と代替視点を学ぶ研修

目次

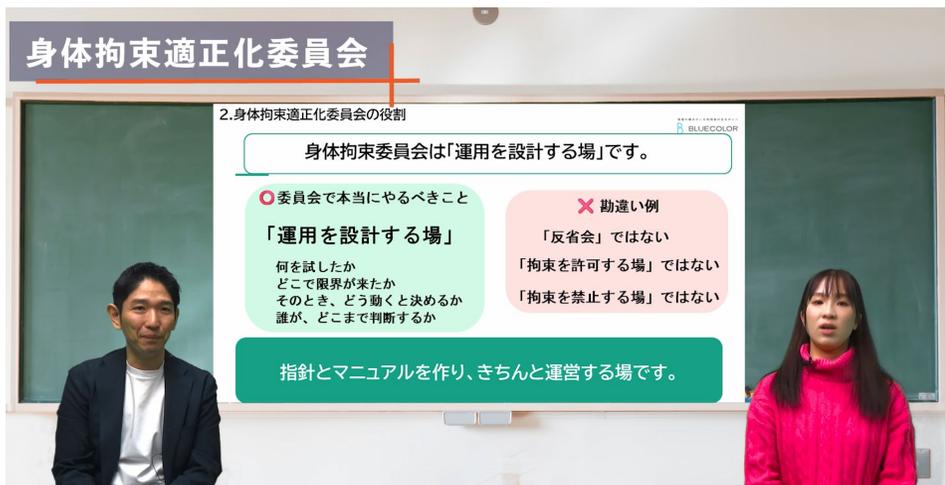
- 1 身体拘束の定義
- 2 前提共有
- 3 事例（転倒リスク・医療行為）
- 4 回らない夜の5ステップ°
- 5 障がい特性と拘束
- 6 まとめ

※法令の解説は、末安先生が、解説しています。末安先生は、安倍・末安法律事務所所属に所属され、福岡を中心に活動されています。
 弁護士・社会福祉士のダブルライセンスを持ち、「介護・福祉分野」の法的支援に注力している専門家です。

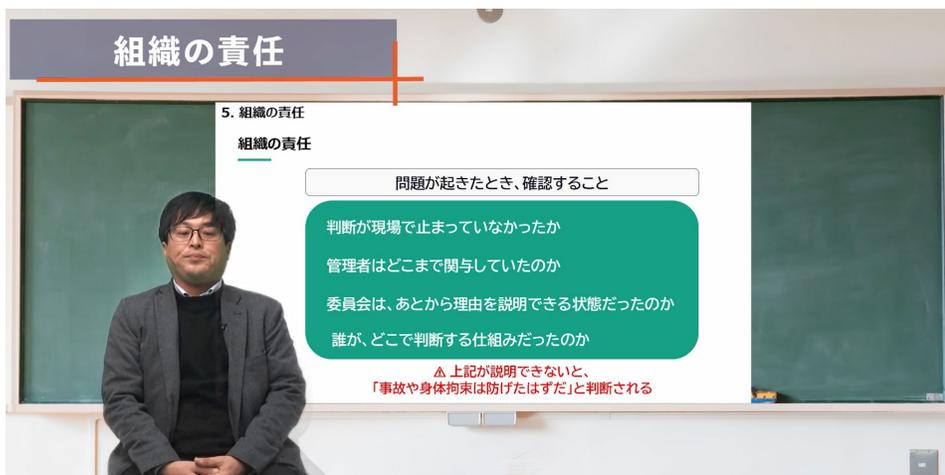
研修時間

13分22秒

1 2. 身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修（2回目）



講義シーン（イメージ）



末安弁護士 講義シーン（イメージ）

研修内容の要約

身体拘束を個人判断にしないための、組織としての仕組みづくりと管理者の役割を学ぶ

研修

目次

- 1 身体拘束適正化の制度
- 2 身体拘束適正化委員会の役割
- 3 管理者の役割
- 4 隠れやすい身体拘束
- 5 組織の責任
- 6 まとめ

※法令の解説は、末安先生が、解説しています。末安先生は、安倍・末安法律事務所所属に所属され、福岡を中心に活動されています。
弁護士・社会福祉士のダブルライセンスを持ち、「介護・福祉分野」の法的支援に注力している専門家です。

研修時間

13分32秒

13. 非常災害時の対応に関する研修

研修内容の要約

想定どおりに進まない非常時に、優先順位を間違えないための判断基準を学ぶ研修

目次

- 1 非常災害とは何か
- 2 非常災害時に最優先すること
- 3 現場で起きやすい判断ミス
- 4 職員に求められる基本姿勢
- 5 まとめ

研修時間

3分55秒

現場で起きやすい判断ミス

現実逃避

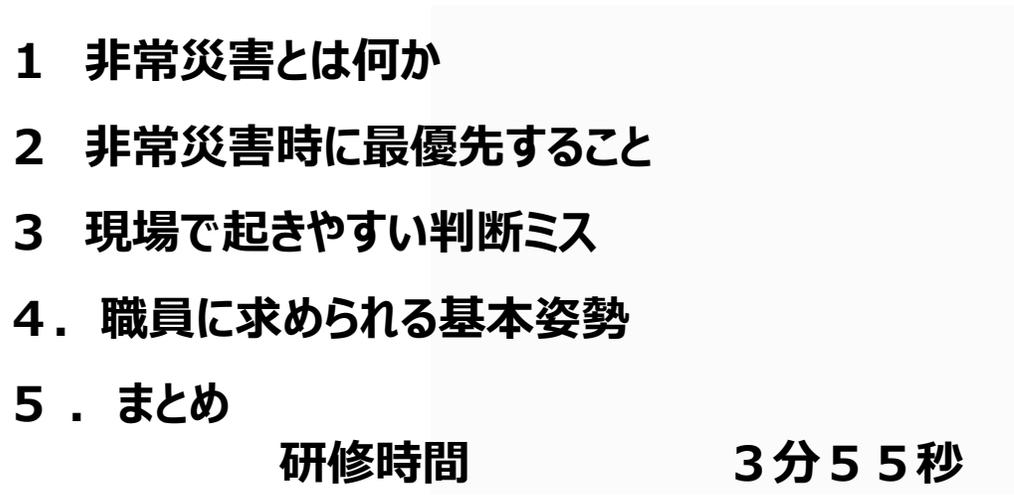
非常時なのに通常業務を続ける

「まだ大丈夫だろう」と判断の先送り

一人回りからの先走り

一人で判断して、抱え込んでしまう

講義シーン（イメージ）



14. 介護予防及び要介護度進行予防に関する研修



講義シーン(イメージ)



レクリエーション講義シーン(イメージ)

研修内容の要約

理論だけで終わらせず、実演レクリエーションを通して介護予防を実践的に学ぶ研修

目次

- 1 介護予防の三本柱 (運動・栄養・社会/口腔)
- 2 陽気な課長の「楽レク」 (楽しめる介護予防レクリエーション)

※「陽気な課長」は、主にInstagramやTikTokで活動するレクリエーション介護士・理学療法士の鷺巣 豪 (わしず ごう) 氏です。
デイサービスや高齢者施設で役立つ、1500種類以上のゲームレクのアイデアを動画で毎日配信し、高齢者が楽しめるレクリエーションを考案・紹介しています。

研修時間

27分8秒

15. 医療に関する研修

研修内容の要約

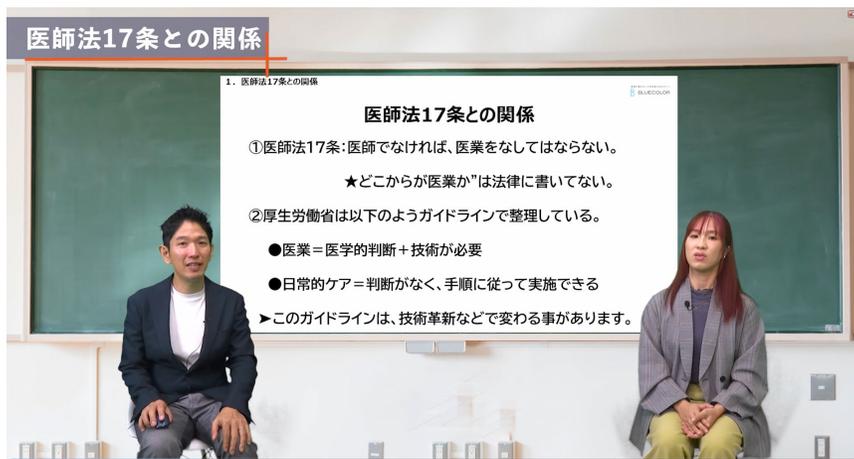
介護職が判断してはいけない医療行為の境界を理解し、安全な観察と報告の考え方を学ぶ研修

目次

1. 医師法17条との関係
2. 行為ごとの線引き
3. 現場が誤解しやすいポイント
4. まとめ

研修時間

10分45秒



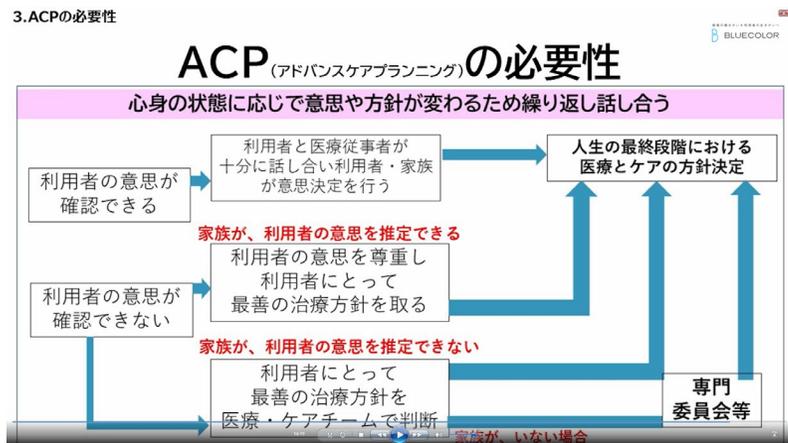
講義シーン(イメージ)

16. ターミナルケアに関する研修



行ってみると、寒さのなか、倒れています。
誰が見ても「助からない」状況。
僕はその場で何とか体を温め、救急を呼び、必死に命をつなぎとめました。

事例“本人の声が消える”シーン（イメージ）



講義シーン（イメージ）

研修内容の要約

人生の最終段階において本人の意思を尊重するための考え方や、現場でできる関わりを学ぶ研修

目次

1. 看取り介護の考え方
2. 本人の声が消える事例
3. ACP（人生会議）の必要性
4. 私たちにできること
5. まとめ

研修時間

15分23秒

17. 精神的ケアに関する研修

研修内容の要約

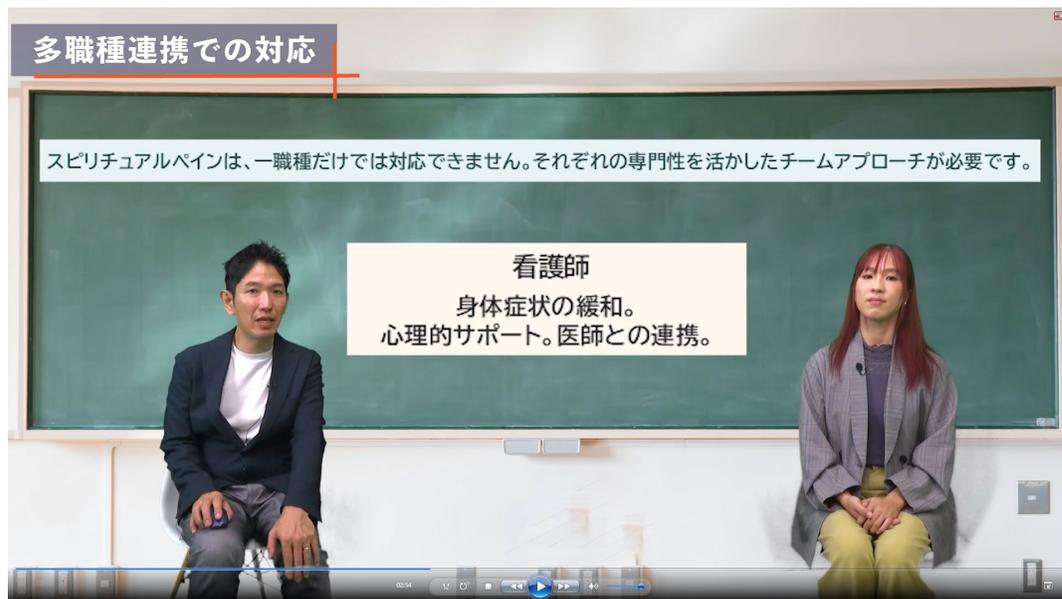
スピリチュアルペインを理解し、その人の人生に寄り添うための傾聴と関わり方を学ぶ 研修

目次

1. スピリチュアルペインとは
2. 多職種連携での対応
3. 具体的なコミュニケーション
4. まとめ

研修時間

7分24秒



講義シーン（イメージ）

18 . ハラスメント対策の為の研修

研修内容の要約



講義シーン（イメージ）

無意識の偏見に気づき、相手の尊厳を損なわないコミュニケーションを学ぶ研修

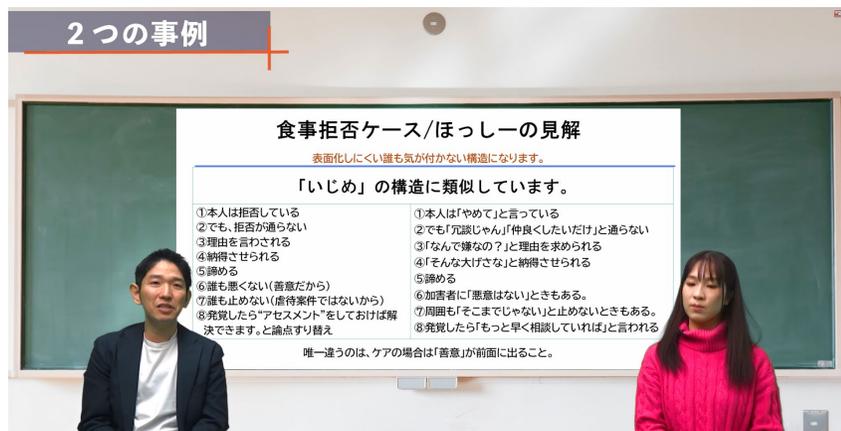
目次

1. アンコンシャスバイアスとハラスメント
2. ハラスメントをしない為の対策！
3. まとめ

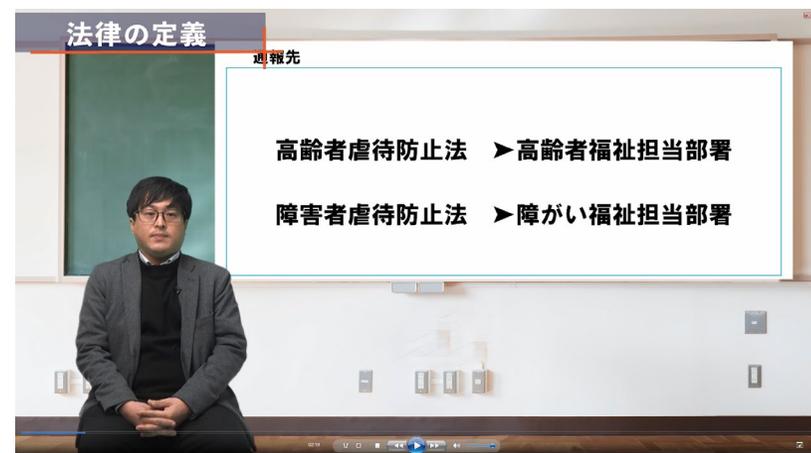
研修時間

14分40秒

19. 虐待防止に関する研修（1回目）



講義シーン（イメージ）



末安弁護士 講義シーン（イメージ）

研修内容の要約

「安全のため」「仕方がない」という判断が
虐待に近づく過程に気づき、日常の関わり
を見直す研修

目次

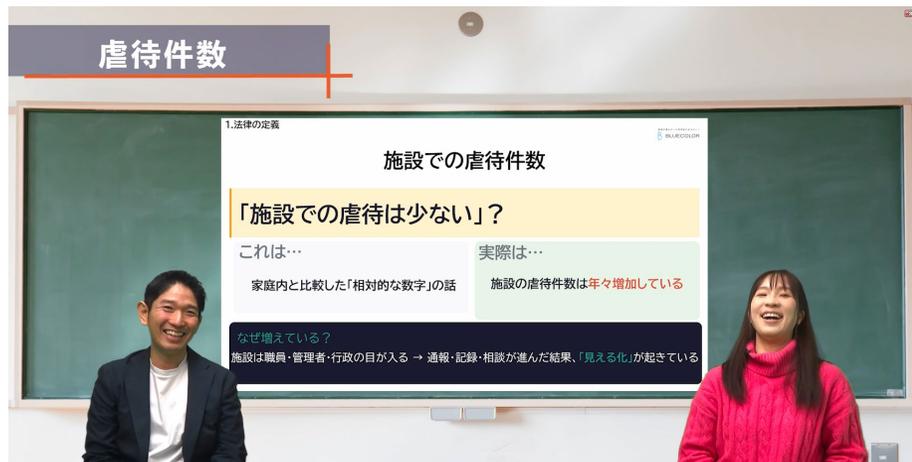
- 1 法律の定義
- 2 2つの事例
- 3 まとめ

※法令の解説は、末安先生が、解説しています。末安先生は、安倍・末安法律事務所所属に所属され、福岡を中心に活動されています。
弁護士・社会福祉士のダブルライセンスを持ち、「介護・福祉分野」の法的支援に注力している専門家です。

研修時間

30分4秒

20. 虐待防止に関する研修（2回目）



講義シーン(イメージ)



末安弁護士 講義シーン(イメージ)

研修内容の要約

虐待を個人の問題にせず、組織として防ぐための仕組みと管理者の役割を学ぶ研修

目次

- 1 施設での虐待件数の話
- 2 動けない3つの壁
- 3 通報と記録の法的意味
4. 相談は勇気ではなく手順
5. まとめ

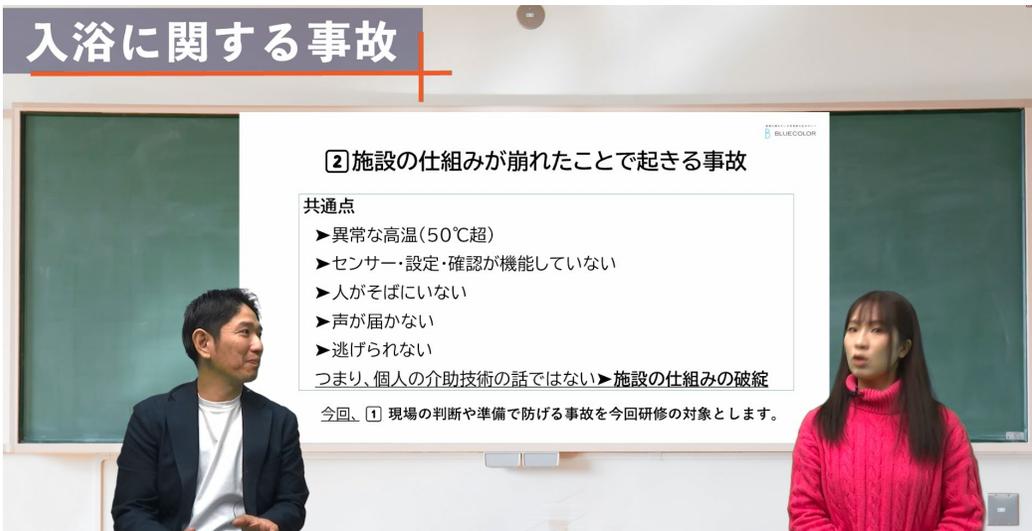
※法令の解説は、末安先生が、解説しています。末安先生は、安倍・末安法律事務所所属に所属され、福岡を中心に活動されています。弁護士・社会福祉士のダブルライセンスを持ち、「介護・福祉分野」の法的支援に注力している専門家です。

研修時間

11分32秒

2 1. 入浴介助についての研修

研修内容の要約



講義シーン（イメージ）

「いつもと違う」に気づき、入浴中の事故を防ぐための判断と準備の考え方を学ぶ研修

目次

1. 準備段階で感じた“小さな違和感”
2. 「今日は一段ギアを下げる」という判断
3. ヒートショックの真実
4. 事例

研修時間

13分57秒

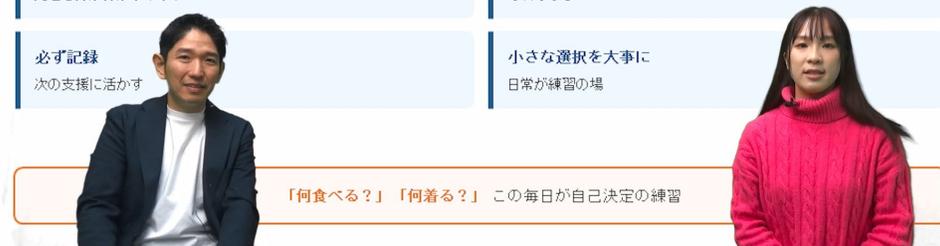
22. 意思決定支援に関する研修

研修内容の要約

実践のポイント



| | |
|-------------------------|-----------------------|
| 選択肢は2つ 多すぎると混乱する | 急ぐ時は数を減らす 選択の機会は残す |
| 写真・実物を使う 見せる方が分かりやすい | 失敗OK それも学び |
| 必ず記録 次の支援に活かす | 小さな選択を大事に 日常が練習の場 |



「何食べる?」「何着る?」この毎日が自己決定の練習

講義シーン（イメージ）

「決めてあげる」のではなく、本人が自分で決められるよう支える関わり方を学ぶ研修

目次

1. よくある勘違い
2. 現場NG集と正解集
3. 実践のポイント
4. 纏め

研修時間

6分20秒

研修の進め方

研修の進め方

- 01 職員名簿(エクセルデータ)をBLUECOLOR(株)へ送る(次頁ご参照)
- 02 「各職員へご案内テンプレート用紙」が、メールで届く(次々頁ご参照)
- 03 「各職員へご案内テンプレート用紙」を印刷し、職員へ配布
- 04 部署内で“今月は何の研修を終わらせるのか”を決める
- 05 研修履歴をダウンロードして、研修記録として保管

職員名簿テンプレート

※兼務の場合は、「・、/」のいずれかで区分をお願いします。

| 必須記入事項 | | | | | |
|--------|-----------|--------|--------|-----------|-----------------------|
| | ※所属 | 役職 | 氏名(漢字) | 氏名(ふりがな) | 研修希望 |
| 例示01 | 訪問看護 | 例示 管理者 | 吉松 正剛 | よしまつ せいごう | 全ての研修22研修を閲覧するように設定する |
| 例示02 | 訪問看護、通所介護 | 例示 介護職 | 千住 陽子 | せんじゅ ようこ | 最低限の研修が良い。 |
| 1 | | | | | 希望リスト |
| 2 | | | | | 希望リスト |

記載内容

- 所属
- お名前
- ふりがな
- 研修選択（①②を選択してください。）
 - ①最低限の研修（法令上の最低限の研修）
 - ②全ての研修

